

経営体の概要

- ・所在地: 愛知県岡崎市
- ・経営体名: 河内孝紀氏
- ・栽培作物: ナス
- ・作付面積: 24a(技術導入面積は12a)
- ・労働力: 家族3名(平成30年8月現在)

導入技術

- ・あぐりログ((株)IT工房Z製)及びプロファイダー((株)誠和製)
- ・施設内の温度、湿度、CO₂濃度等をモニタリング。
- ・あぐりログのモニタリングデータは、産地グループ及び普及指導員やJA職員と共有可能。



産地グループで導入が進むあぐりログ



普及指導員(左)とタブレットで施設内環境を確認する河内氏(右)

導入経緯

先進産地におけるCO₂施用による増収技術に関心を持っていたところ、平成26年度に、JAあいち経済連からプロファイダーとCO₂施用装置の導入と調査ほ設置の依頼を受けた。平成28年度には、安価でいつでもどこでもモニタリングできるシステムとして、あぐりログを導入した。

取組の特徴・効果

- 愛知県事業「あいち型植物工場推進事業」の活用によるあぐりログの導入に合わせて、ICTを活用した産地研究グループ(農家数7人)が形成され、調査ほを設置した経営体として参加。
- 栽培期間中、月に1回の頻度で開催される技術研究会へ参加。産地グループ員間でモニタリングデータや生育データ等を比較検討し、栽培管理の改善に努める。
- 技術改善を積み重ねることによって、技術を導入した平成26年度作の単収約19t/10aから、平成29年度作には約23t/10aに増収。
- 今後は、目標収量25t/10aに向けたさらなる技術改善と、父母の高齢化に対応した雇用の導入・教育を検討。